

ムーミンたちの、優しくてちょっと不思議な世界へようこそ!!

©Moomin Characters™

# MOOMIN

## ムーミンハウス をつくる

組み立てガイド

28







## ハウス 屋根瓦と煙突と屋根裏窓を組み立てる

### 今号のパーツ

#### ハウス

①瓦シート×2

②屋根飾り

#### 小物

③ムーミンババの靴

※①瓦シートの各瓦には、「16」～「29」の番号が記されているシートと番号が記されていないシートがあります。

#### 使う道具

- ☐ 木工用ボンド
- ☐ 瞬間接着剤
- ☐ マスキングテープ
- ☐ カッターナイフ
- ☐ カッティングマット
- ☐ ハサミ
- ☐ 三角定規
- ☐ 紙ヤスリ (240番)
- ☐ マチ針

☐ キッチンペーパーなど

☐ 絵画 (紙皿でも可)

☐ 筆

☐ アクリル絵の具

・コバルトブルー (青)

・ブルーコンボーズ (水色)

・ランプブラック (黒)

・ホワイト (白)

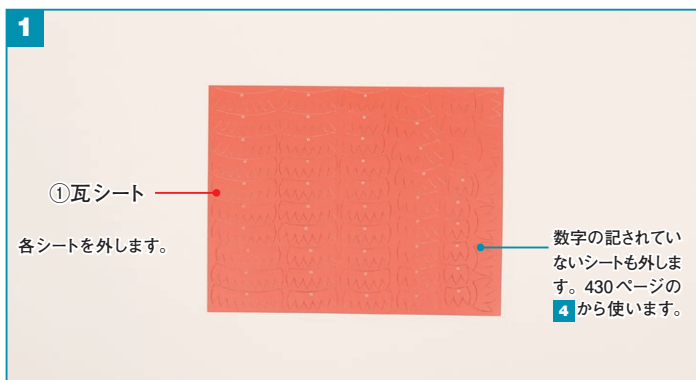
#### あると便利な道具

☐ ピンセット

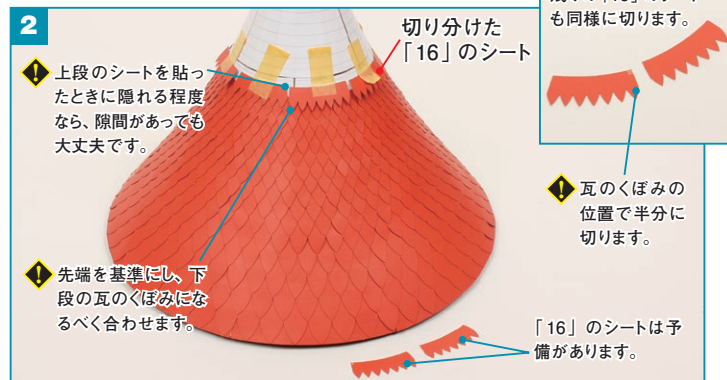
☐ ようじ

☐ 割り箸

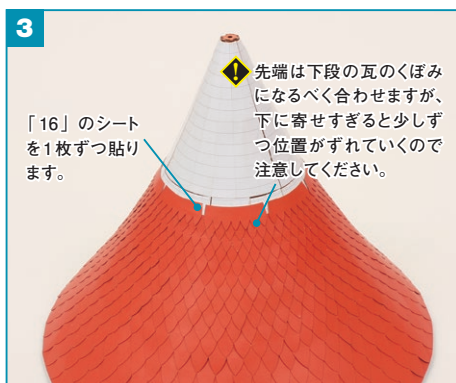
## ハウス 屋根瓦の組み立て (「16」～「21」のシート)



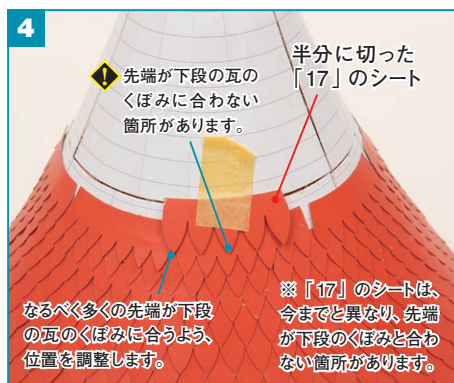
①瓦シートの継ぎ目をカッターナイフで切り、「16」～「29」のシートと数字の記されていないシートを外します。切り分けたシートは、番号ごとに分けておきましょう。



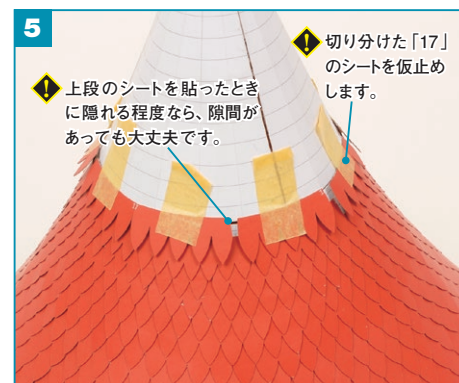
今までと同じ要領で、シートを屋根に貼っていきます。まず、「16」のシートを半分に切ってからマスキングテープで仮止めし、貼る位置を確認します。



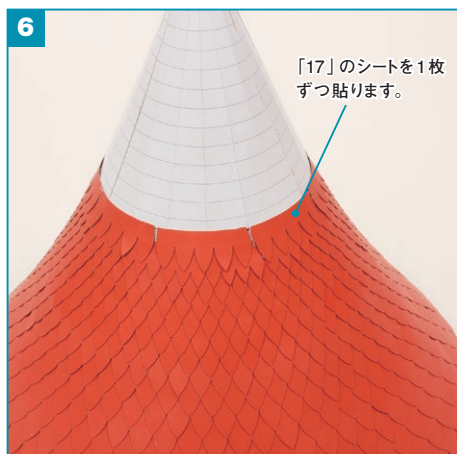
各シートの位置が決まったら、1枚ずつボンドで貼りましょう。



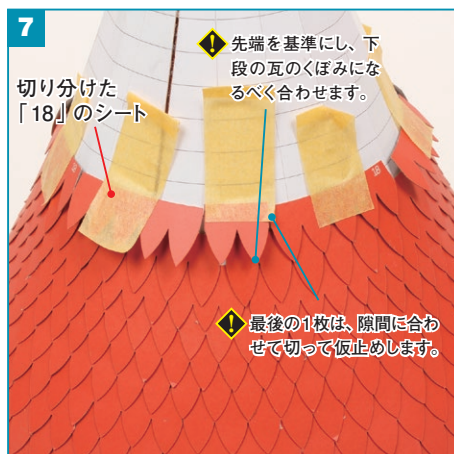
「17」のシートは、なるべく多くの先端が下段の瓦のくぼみと合うよう、調整します。まず、半分に切った「17」のシートを1枚、マスキングテープで仮止めします。



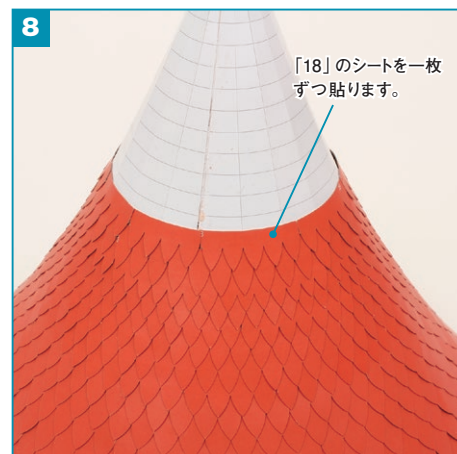
続けて、切り分けた残りの「17」のシートを仮止めて1周覆います。



各シートの位置が決まったら、1枚ずつボンドで貼ります。



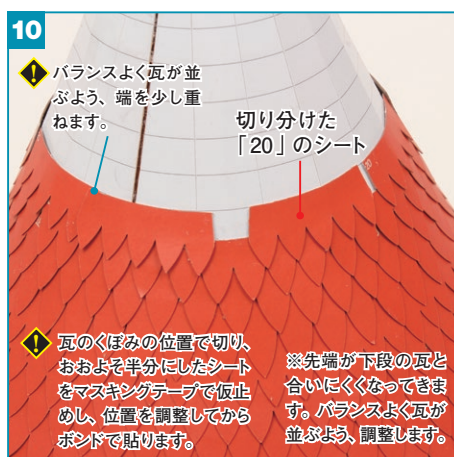
「18」のシートは、先端を下段の瓦のくぼみに合わせて貼ります。突起が4本と5本になるように切り、マスキングテープで仮止めします。



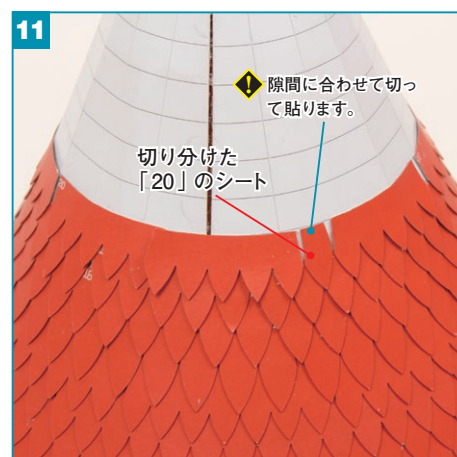
各シートの位置が決まったら、1枚ずつボンドで貼ります。



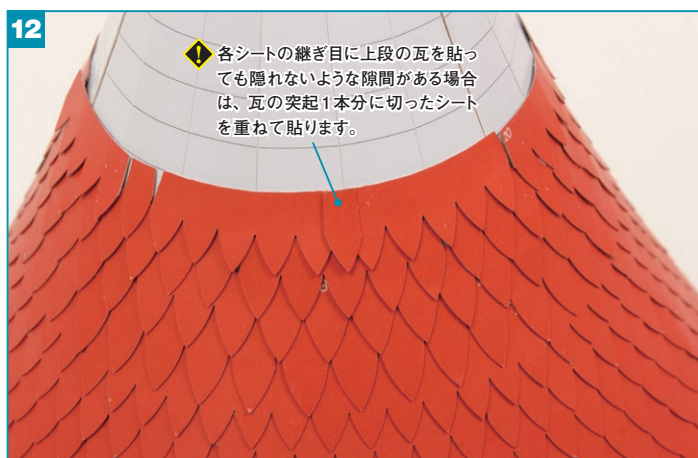
次に、「19」のシートをおおよそ半分に切り分けて仮止めしてからボンドで貼ります。



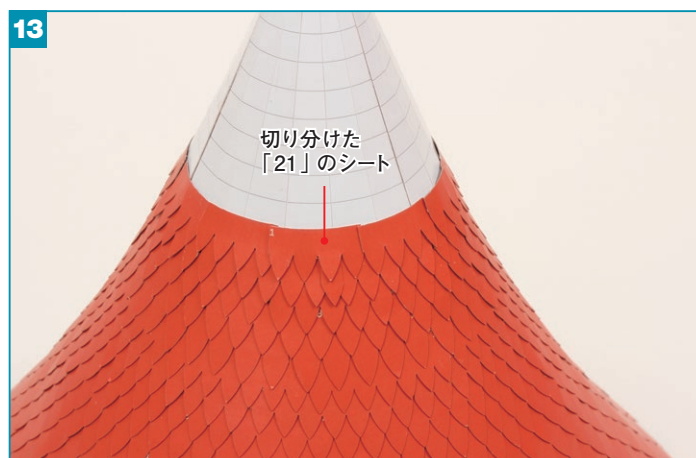
さらに、おおよそ半分に切り分けた「20」のシートを貼ります。先端が下段の瓦のくぼみに合わない場合は、バランスよく瓦が並ぶよう位置を調整してから貼ります。



大きな隙間が残ったら、余ったシートを隙間に合わせて切って貼ります。



各シートの継ぎ目に上段の瓦を貼っても隠れないような隙間がある場合は、瓦の突起1本分に切ったシートを重ねて貼りましょう。

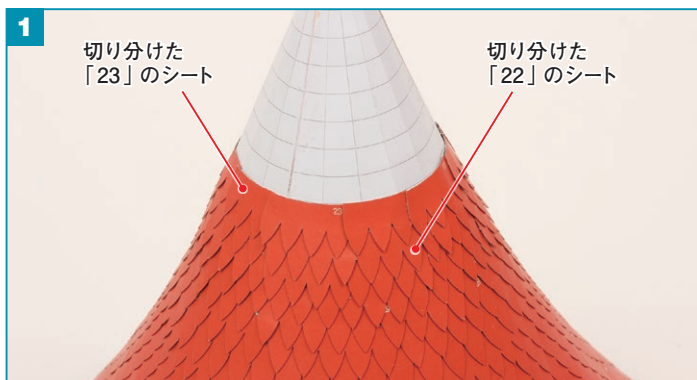


10～12と同じ要領で、「21」のシートを貼ります。

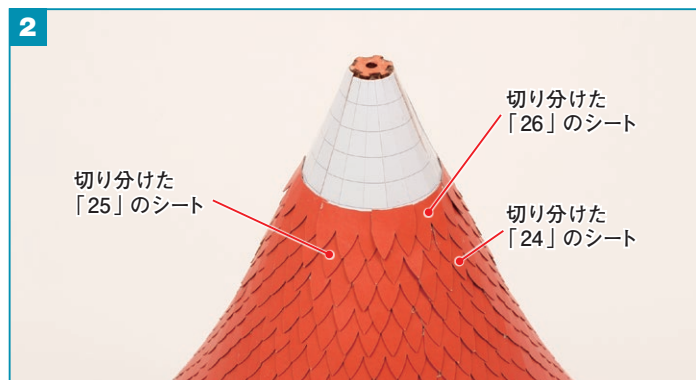




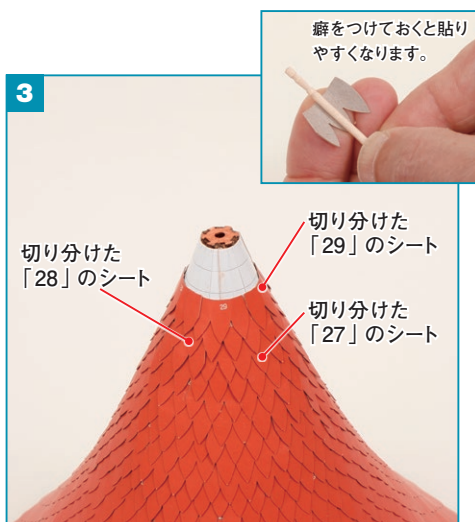
## ハウス 屋根瓦の組み立て(「22」～「29」、数字の記されていないシート)



前ページの10～12と同様に、「22」のシート、「23」のシートを順に貼ります。



さらに、「24」のシート、「25」のシート、「26」のシートを順に貼ります。



「27」のシート、「28」のシート、「29」のシートも、同様に順に貼ります。シートは、屋根のカーブに合わせて、ようじなどを使って癖をつけてから貼るとよいでしょう。



「29」の上段に、数字の記されていないシートを貼ります。数字の記されていないシートは、合計3段貼ります。



さらに、もう一段、数字の記されていないシートを貼ります。



最後にもう一段、数字の記されていないシートを貼ります。この段は、突起1本分に切り分けてから貼りましょう。



屋根の上にはみ出た瓦シートを、カッターナイフで切ります。一度で切ろうとせず、何度もなぞって慎重に切りましょう。



切り口に紙ヤスリをかけて平らにします。瓦シートがはがれないよう、ヤスリを外側から中心に向けて動かすのがコツです。次は、煙突や屋根裏窓を設置します。



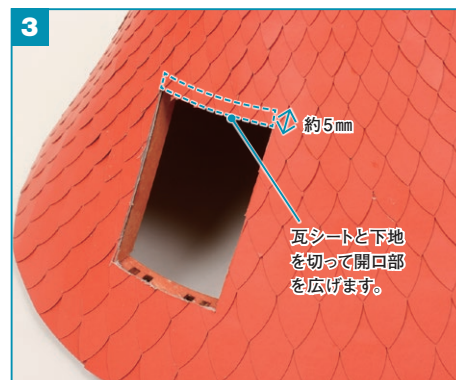
## ハウス 煙突と屋根裏窓の設置



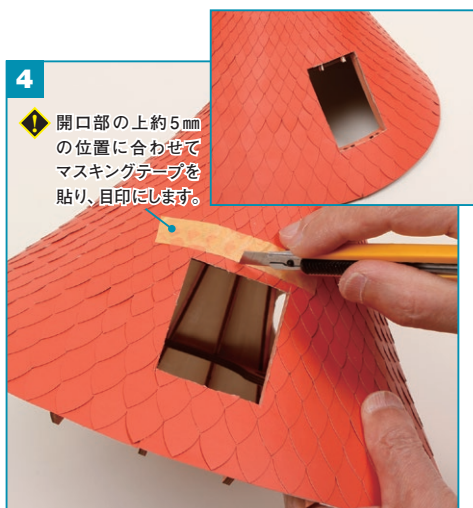
屋根裏窓の開口部の瓦シートを切り落とします。屋根柢の内側に沿ってカッターナイフで切りますが、下側は少し残すので注意してください。



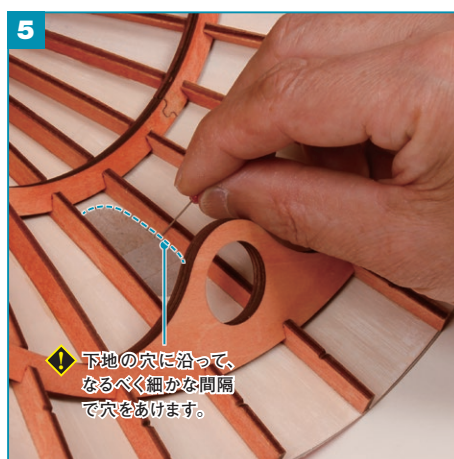
ある程度切れたら、最後は外側から切って仕上げましょう。



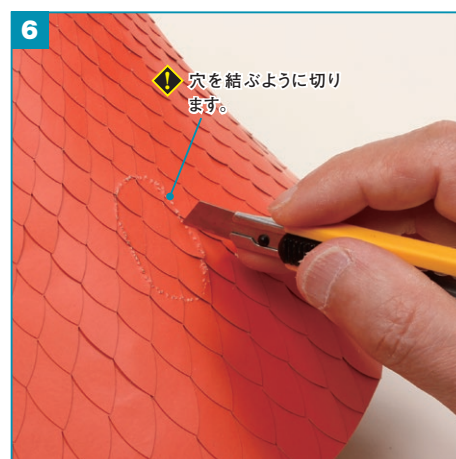
さらに、青線部の瓦シートと下地を切り落とし、開口部を上約5mm広げます。



マスキングテープを貼って目印にします。外側から何度もなぞるようにして慎重に切りましょう。



次に、煙突の開口部の瓦シートを切り落とします。まず、内側から下地の穴に沿ってマチ針で穴をあけます。



5であけた穴を結ぶように、外側からカッターナイフで瓦シートを切ります。



切り口に紙ヤスリをかけます。瓦がはがれないよう、ヤスリを外側から内側に動かすのがコツです。



屋根裏窓の取り付け方を確認します。まず、ボンドをつけずに、屋根裏窓を開口部に差し込みます。下側の突起を屋根柢の穴に差し込みましょう。



屋根裏窓の上側を屋根に押し込みます。屋根裏窓の切り込みが屋根柢とかみ合います。正しく組めることを確認したら、ボンドで接着します。





ADVICE  
アドバイス

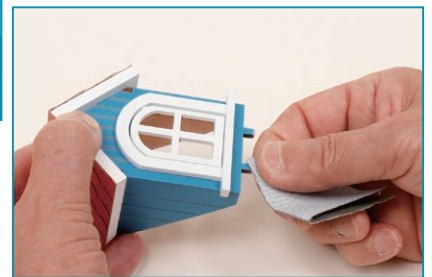
屋根裏窓の切り込みが屋根枠とかみ合わない場合は調整しよう



屋根裏窓の切り込みが屋根枠とかみ合わない場合は、屋根裏窓の切り込みを広げます。



縦方向[1]に約1mm切り込みを入れてから、水平方向[2]に削ぐようにして切るとよいでしょう。反対側の切り込みも同様に広げます。



また、屋根裏窓の突起を紙ヤスリで削って少し細くしておくと、屋根枠の穴に入れやすくなります。



屋根裏窓の頂部に、第106号の棟瓦(屋根裏窓用)を瞬間接着剤で接着します。



屋根の煙突の穴に第106号で組み立てた煙突を差し込み、内側の屋根枠の穴に少し通します。



屋根裏の床には煙突の位置の目印があります。この印に煙突が合うようにハウス本体に屋根を乗せ、煙突の下端が床に接するまで差し込みます。



屋根を外し、煙突と屋根枠の接点に瞬間接着剤をつけて接着します。



屋根裏窓の窓を開き、第88号で組み立てた縄ばしごの端を瞬間接着剤で接着します。



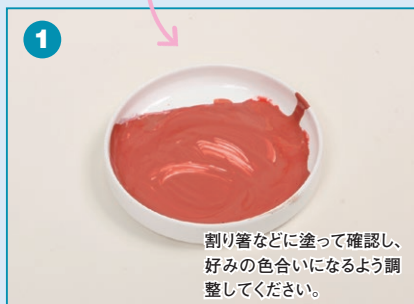
②屋根飾りの突起を屋根の頂部の穴に差し込み、ボンドで接着します。次は、いよいよハウスを仕上げていきます。



屋根の瓦は、ところどころ着色して濃淡をつけるとよりリアルになります。同時に、シートの数字や下地が出ている部分も着色して、修正しましょう。

割合の目安

パーマネントスカーレット : 少量  
ネイブルスイエロー : ①  
ホワイト : 少量  
ランプブラック : ④  
水 : ④



「割合の目安」を参考に絵の具を出し、よく混ぜ合わせます。



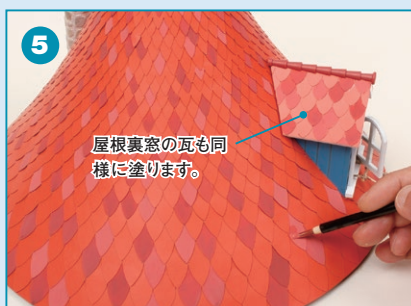
絵の具を筆に取り、屋根のところどころの瓦に塗ります。まず、瓦の上側から塗りはじめ、外側にはみ出さないように周囲のふちを塗ります。



次に、色ムラが残らないように整えながら中心を塗ります。絵の具がはみ出た場合は、乾く前に綿棒などで拭き取ります。



②～③と同様に、バランスを見ながらところどころの瓦に塗ります。



①の絵の具にローシェナーやホワイトなどを少量加えて少し色を変え、バランスよくところどころの瓦に塗ります。



同様に、玄関ポーチの屋根、ベランダの屋根、まき置き場の屋根、勝手口のひさし、2階の出窓の瓦も塗ります。

## ハウス ハウスの仕上げ



玄関のドアの外側に、玄関ポーチを配置します。玄関のドアの外枠がぶつかってうまく合わない場合は、右の「アドバイス」のように調整しましょう。

ADVICE  
アドバイス

### 屋根が外枠にぶつかる場合は調整しよう



玄関ポーチの天井板と玄関のドアの外枠がかみ合います。外枠にぶつかってうまく合わない場合は、外枠を切って調整します。

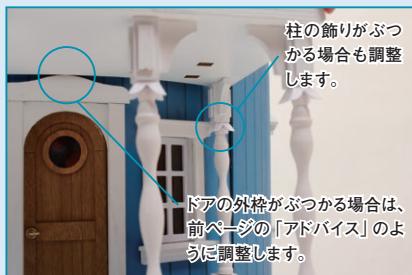


外枠にマスキングテープを貼って目印にし、カッターナイフで切ります。何度も軽くなぞるようにして切るのがコツです。



1と同様に、ベランダ側の外壁に、ベランダを配置します。うまく合わない場合は、右の「アドバイス」のように調整しましょう。

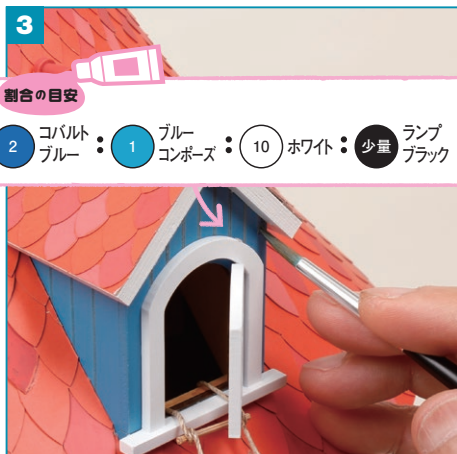
ADVICE  
アドバイス うまく合わない場合は調整しよう



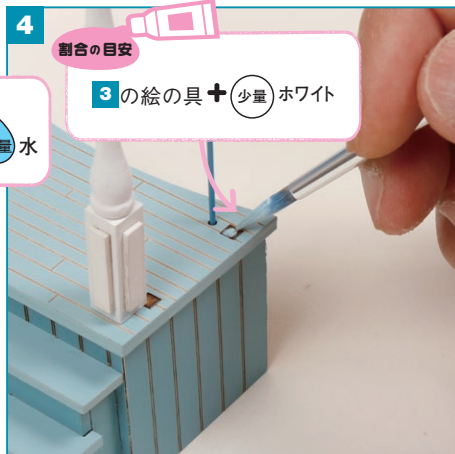
まず、どこがベランダとぶつかってうまく合わないかを確認します。



柱の飾りがぶつかる場合は、カッターナイフで削って調整します。



ハウス全体を見直し、着色されていない部分を確認します。屋根裏窓の前板には、着色されていない部分があるので着色しましょう。



玄関ポーチの床も着色します。



玄関ポーチとベランダの天井は白く塗ります。



勝手口のドアの下に勝手口の階段を、左側にまき置き場を配置して完成です。

ムーミンハウスの  
完成



ついに、ムーミンハウスの完成です。  
家具や小物、フィギュアを飾りましょう。



家具はオリジナルのアレンジを加え、自由にディテールアップしてムーミンハウスの完成度をより高めてください。一例として、調理ストーブに使い古した風合いを加える方法を紹介します。

割合の目安

① ローシェナー : ② ランプ  
少量 ブラック ③ 水 20

1

※キッチンに両面テープで仮止めしていた場合は慎重に外します。

絵の具がつきすぎた場合は、筆先を使って取りましょう。



少しムラを出すのがコツです。

「割合の目安」で溶いた絵の具を石鹸水を含ませた筆に取り、調理ストーブのフードに塗ります。

割合の目安

① ホワイト : ② 水 20

2

「割合の目安」で溶いた絵の具を石鹸水を含ませた筆に取り、レンガの壁全体に塗ります。

3

同様に、②の絵の具を天板にも塗ります。



家具や小物、フィギュアを自由に飾って楽しもう

写真は飾り方の一例です。完成したムーミンハウスに、これまでにつくった家具や小物、付属のフィギュアを置きましょう。飾りつけは、自由にアレンジしてお楽しみください。  
※写真のムーミンハウスは試作品のため、本キットに付属しない小物が含まれております。ご了承ください。



屋根裏部屋



ベランダ



地下倉庫



⚠ 保管時の注意と手入れ

- 湿気の多い場所を避けて保管してください。木製パーツが湿気を吸い、ゆがんだり変形したりするおそれがあります。
- 褪色や劣化を防ぐため、直射日光の当たらない場所で保管してください。
- ほこりがたまらないよう、ケースなどに入れて保管することをおすすめします。ほこりがたまった場合は、乾いた筆を使って掃除するといでしょう。





組み立てのコツが満載！  
組立サポート  
動画を  
チェック！



<https://deagostini.jp/app/moo/>

## 水あび小屋 ロープ 家具 三脚ストーブを組み立てる

### 今号のパーツ

水あび小屋



家具



※①ひもは台紙に巻かれています。外してからお使いください。

#### 使う道具

- ☐ 木工用ボンド
- ☐ 瞬間接着剤
- ☐ ハサミ

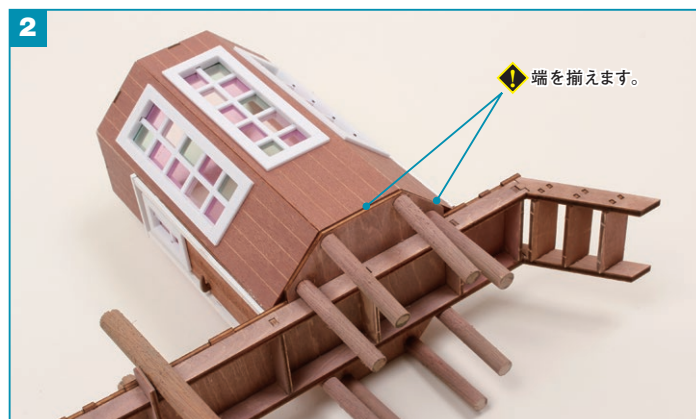
#### あると便利な道具

- ☐ ピンセット
- ☐ ラジオペンチ
- ☐ マスキングテープ

## 水あび小屋 水あび小屋の組み立て



第97号で組み立てた栈橋を用意し、床板の八角形の部分に第104号で組み立てた水あび小屋を接着する向きを確認します。



水あび小屋の固定式の壁の端を栈橋の床板の端と揃え、ボンドで接着します。ボンドが乾くまでマスキングテープなどを貼っておくとよいでしょう。

### ADVICE アドバイス 着脱式の壁の組み合わせ方を確認しよう



着脱式の壁は、水あび小屋の開口部にはめ込みます。



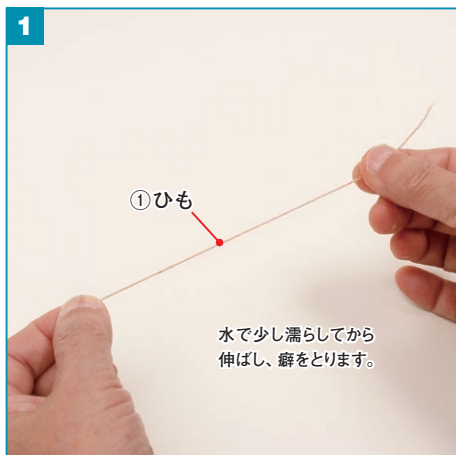
着脱式の壁の上下の板が、水あび小屋の床や上枠とかがみ合います。



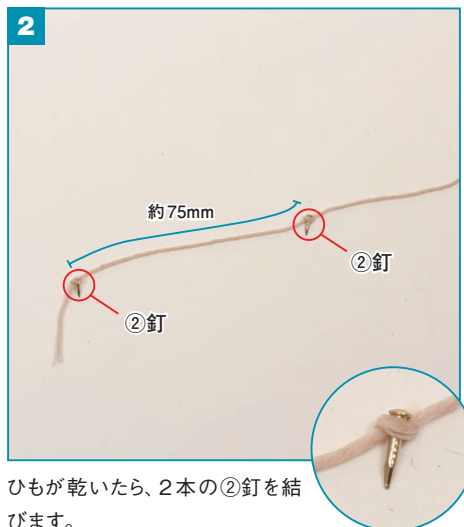
着脱式の壁をはめ込んだ際にかみ合わせが緩い場合は、上枠の下面に厚紙を貼ると外れにくくなります。



## 水あび小屋 ロープの組み立て



① ひもを水で少し濡らしてから伸ばし、癖をとります。



ひもが乾いたら、2本の②釘を結びます。



結び目に瞬間接着剤を少量つけて固定し、余分をハサミで切ります。



**3**の片側の釘を水あび小屋のドアの上の壁に差し込みます。



同様に、反対側のドアの上の壁に残りの釘を差し込みます。

## 家具 三脚ストーブの組み立て



⑧ 本体の穴に⑨ 脚の突起を差し込み、瞬間接着剤で接着します。



同様に、残り2か所の穴に1本ずつ、脚を瞬間接着剤で接着します。



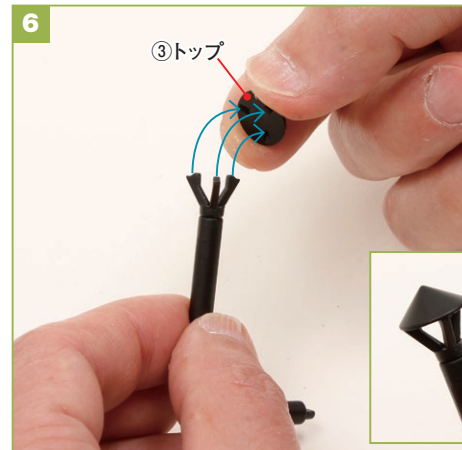
**2**の本体を裏返し、上側に⑦ ふたをはめ込んで瞬間接着剤で接着します。



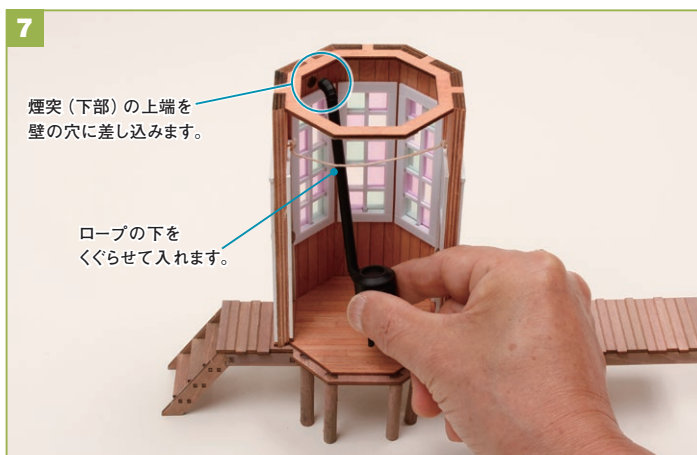
本体の側面の穴に⑥煙突（下部）の突起をはめ込み、瞬間接着剤で接着します。



④トップ（脚）の突起を⑤煙突（上部）の穴に差し込み、瞬間接着剤で接着します。



トップ（脚）の上端を③トップの穴に差し込み、瞬間接着剤で接着します。



三脚ストーブを水あび小屋に設置します。まず、④の本体を水あび小屋に入れ、煙突（下部）の上端を壁の穴に差し込みます。



煙突が垂直に立つよう、本体の位置を調整します。



壁の外側から⑥の煙突（上部）を入れ、壁の内部で煙突（下部）の上端の穴に差し込んで瞬間接着剤で接着します。



今号の  
完成

水あび小屋にロープと三脚ストーブが設置されました。ロープには、後の号で水着やタオルを吊るします。

#### 保管のポイント

組み立て前や組み立て途中の水あび小屋・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。

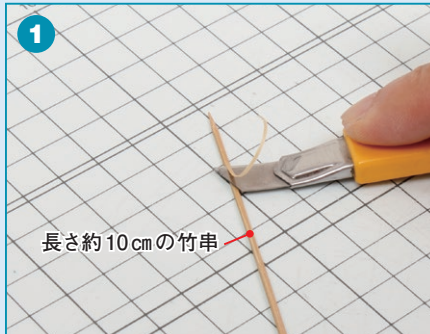
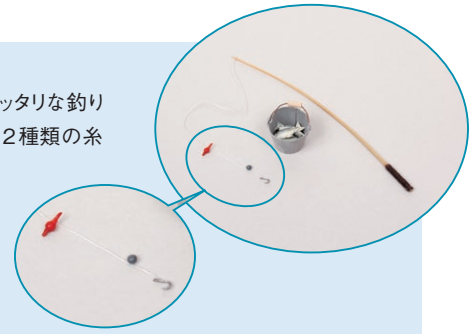


## 釣り竿をつくってみよう

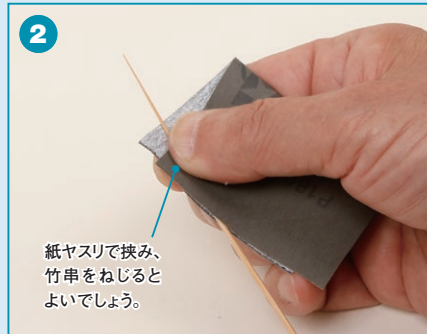
第92号のバケツ、第103号の魚といっしょに飾るのにピッタリな釣り竿のつくり方を紹介します。竹串と細い針金、太さの異なる2種類の糸を用意しましょう。

### 用意する材料

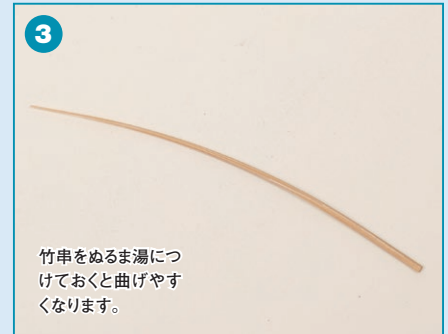
- ・第77号の粘土
- ・長さ約15cmの糸（太めの木綿糸など）
- ・竹串
- ・長さ約15cmの細い糸（細めの木綿糸など）
- ・細い針金



長さ約10cmの竹串を用意し、おおよそ中央から片端に向かって細くします。まず、カッターナイフで削ぐようにして削り、大まかに形を整えます。



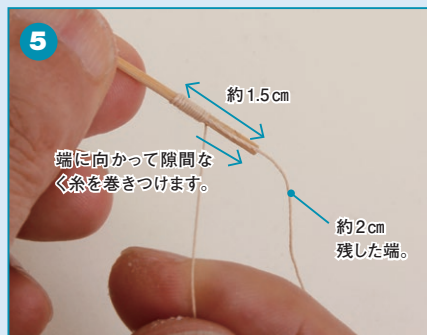
削った部分に紙ヤスリをかけ、滑らかに整えます。



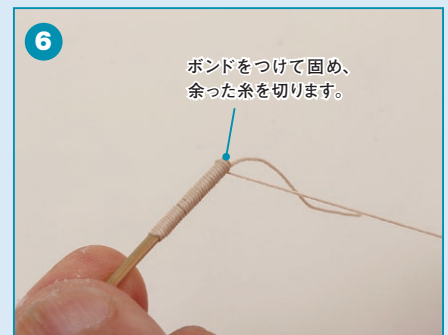
竹串をぬるま湯につけておくと曲げやすくなります。竹串に竿がしなっているような曲げ癖をつけます。竹串をぬるま湯につけておくと曲げやすくなります。



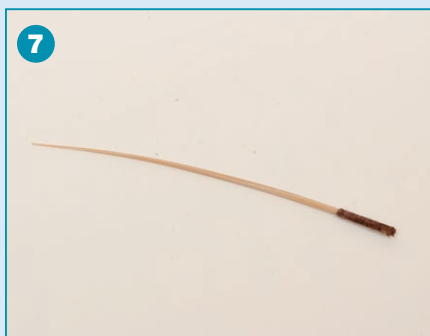
竹串の細くしていないほうに、糸（太めの木綿糸など）を巻き、グリップ部分を表現します。まず、糸端を約2cm残して竹串に当てます。



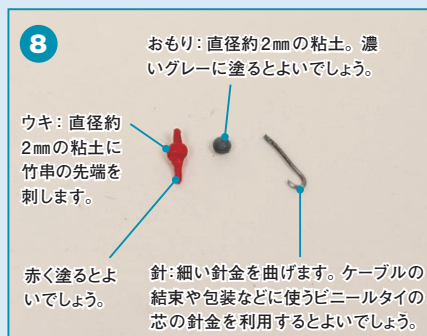
端から約1.5cm離れた位置に糸を巻いてから、端に向かって隙間なく糸を巻きつけていきます。



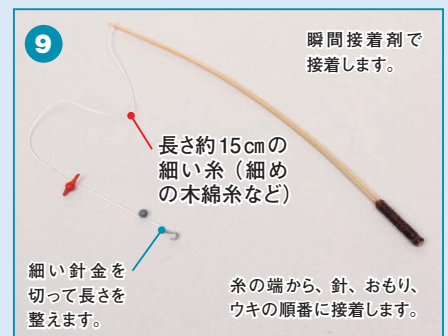
糸を端まで巻きつけてからボンドをつけて固め、余った糸を切ります。



グリップ部分は、こげ茶色に塗るとよいでしょう。



粘土や細い針金、竹串の先端などを使って、ウキ、おもり、針をつくります。



7の先端に細い糸（細めの木綿糸など）を接着し、ウキとおもり、針をバランスよく糸に接着します。



組み立てのコツが満載!

組立サポート  
動画を  
チェック!

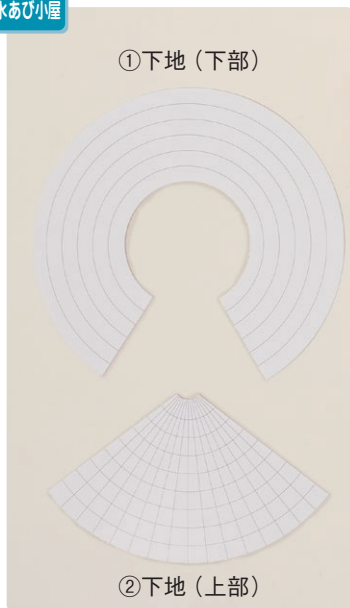


<https://deagostini.jp/app/moo/>

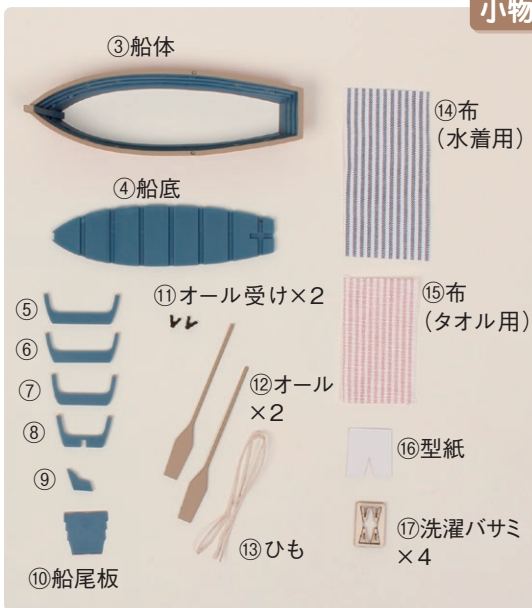
水あび小屋 屋根の下地 小物 ポート、水着とタオルを組み立てる

今号のパーツ

水あび小屋



小物



⑤フレーム(E)、⑥フレーム(F)、⑦フレーム(G)、⑧フレーム(H)、⑨船尾材

※⑫オール、⑬ひもは、次号で使います。紛失しないよう大切に保管してください。  
※⑬ひもは台紙に巻かれています。外してからお使いください。

使う道具

- |                                       |                                     |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 木工用ボンド       | <input type="checkbox"/> キッチンペーパーなど |
| <input type="checkbox"/> 瞬間接着剤        | <input type="checkbox"/> 絵皿 (紙皿でも可) |
| <input type="checkbox"/> 紙ヤスリ (240 番) | <input type="checkbox"/> 筆          |
| <input type="checkbox"/> カッターナイフ      | <input type="checkbox"/> アクリル絵の具    |
| <input type="checkbox"/> カッティングマット    | ・ローシェナー (茶)                         |
| <input type="checkbox"/> ハサミ          | ・ランプブラック (黒)                        |
| <input type="checkbox"/> 定規           | ・ホワイト (白)                           |

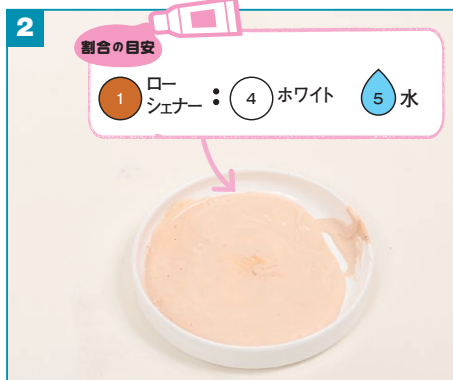
あると便利な道具

- |                                   |                                |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ピンセット    | <input type="checkbox"/> 洗濯バサミ |
| <input type="checkbox"/> マスキングテープ | <input type="checkbox"/> ようじ   |

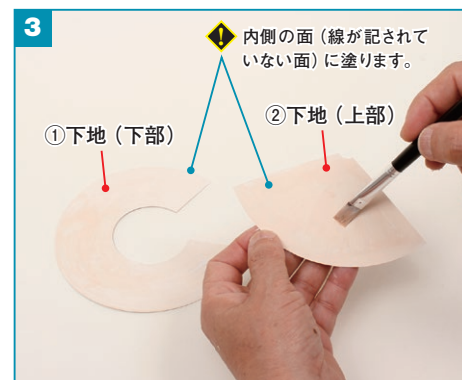
水あび小屋 屋根の下地の組み立て



第91号で組み立てた屋根枠を用意し、上部に第97号で保管した屋根の頂部を瞬間接着剤で接着します。



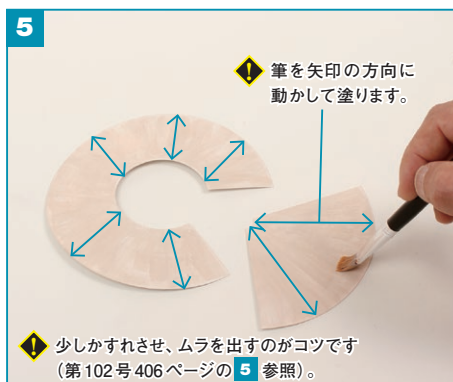
屋根の下地の内側の面を着色します。まず、「割合の目安」を参考に絵の具を出し、よく混ぜ合わせます。



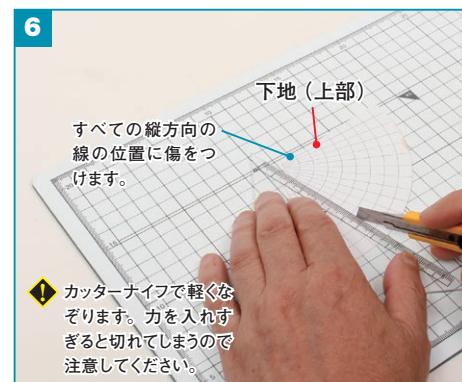
絵の具を筆に取り、①下地 (下部)、②下地 (上部) の内側の面 (線が記されていない面) に塗ります。



上塗りします。「割合の目安」を参考に絵の具を出し、よく混ぜ合わせます。

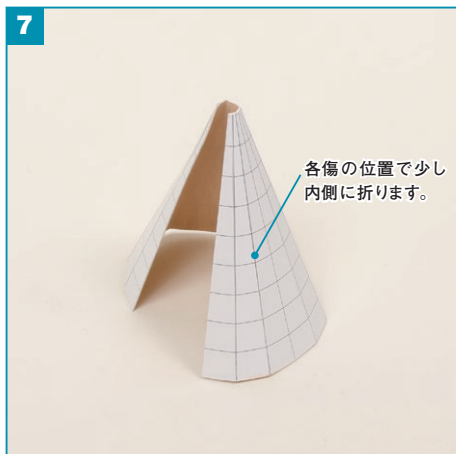


下地 (上部、下部) の内側の面上塗りして風合いを出します。絵の具を筆に少し取り、上下方向に動かして塗ります。



下地 (上部) の外側の面にある縦方向の線に合わせて定規を当て、カッターナイフで軽くなぞって浅い傷をつけます。

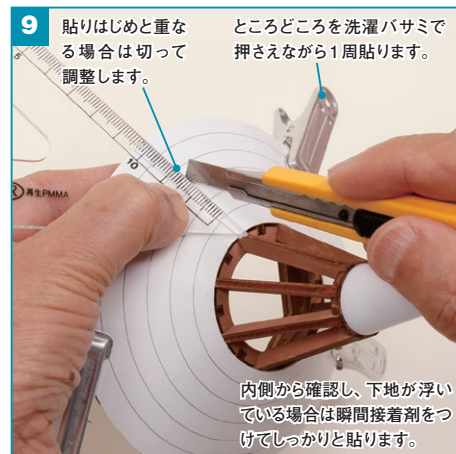




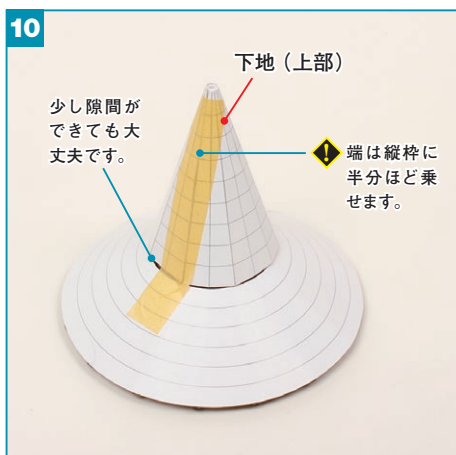
6 でつけた傷の位置（縦方向の線）に沿って、少し内側に折り曲げます。



屋根枠の下側に、下地（下部）をボンドで貼っていきます。まず、下地（下部）の端を縦枠に半分ほど乗せて貼りはじめます。



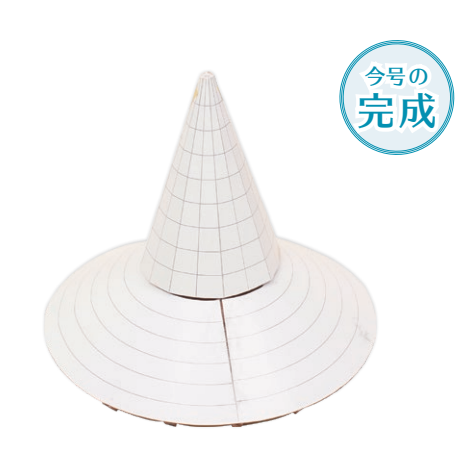
ところどころを洗濯バサミで押さえながら1周貼ります。貼りはじめと重なる場合は、定規を当ててカッターナイフで切って調整します。



8 ～ 9 と同じ要領で、屋根枠の上側に下地（上部）をボンドで貼ります。ボンドが乾くまで、マスキングテープを貼ってとめておくといでしょう。



内側から確認し、下地が浮いている場合は瞬間接着剤をつけて貼ります。また、上部は、下地と屋根の頂部の隙間に瞬間接着剤を流し込み、接着します。

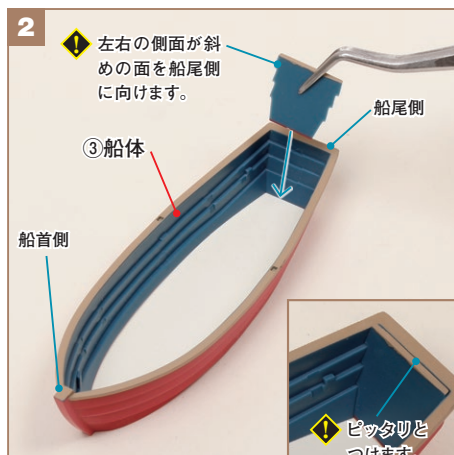


屋根枠が下地で覆われました。次号で瓦シートを貼り、屋根飾りを設置して仕上げます。

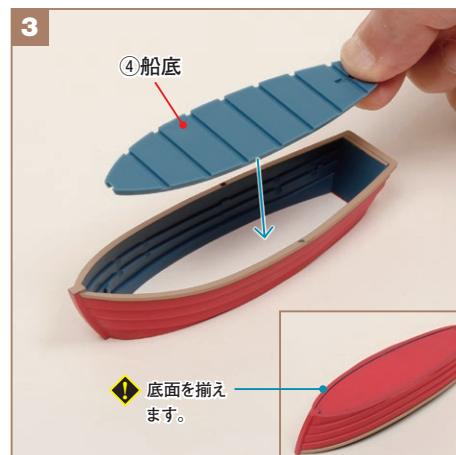
## 小物 ボートの組み立て



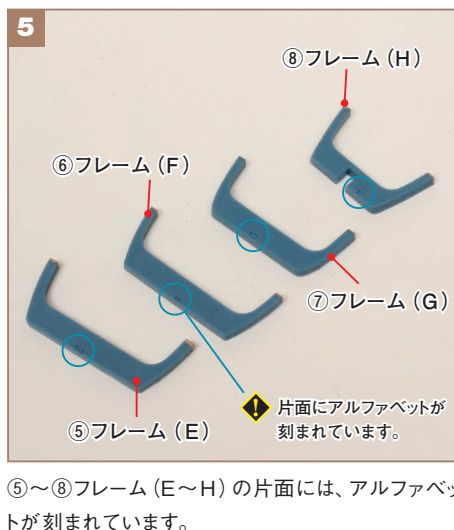
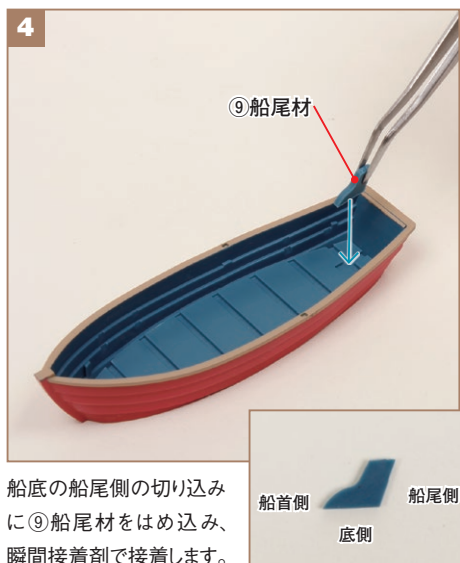
⑩船尾板の上下を確認します。側面は斜めになっています。



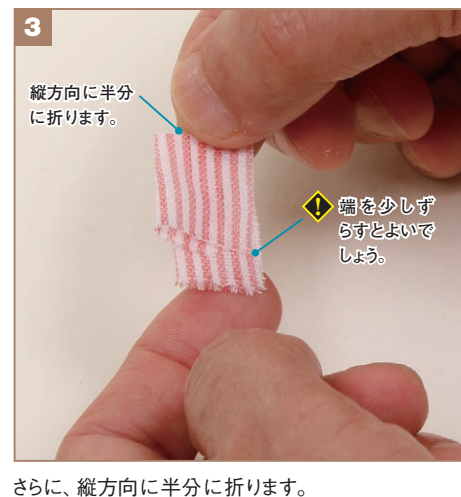
③船体の船尾側に、船尾板を瞬間接着剤で接着します。



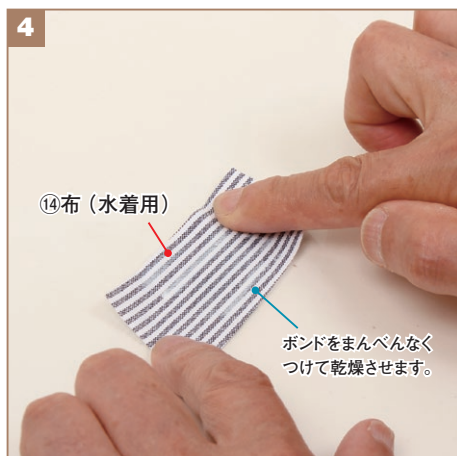
船体の内側から④船底を差し込み、底面を合わせて瞬間接着剤で接着します。



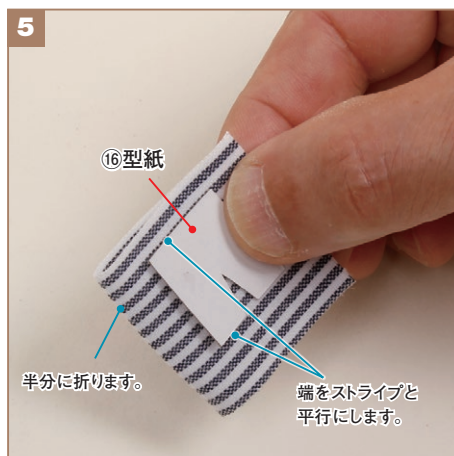
## 小物 水着とタオルの組み立て







⑭布（水着用）にボンドをつけ、指先でまんべんなく薄く伸ばし、そのままボンドを乾燥させます。ボンドをつけることでコシが出て扱いやすくなります。



布（水着用）を半分に折り、⑯型紙を当てます。



ずれないように注意しながら、型紙に沿って布をハサミで切ります。



⑥で切った2枚の布を合わせ、右の写真の点線部の端をボンドで貼り合わせます。



水あび小屋の室内に設置したロープに、③のタオルと⑦の水着をボンドでとめます。



水着とタオルの左右の端に、①の洗濯バサミをボンドでとめて完成です。



今号の  
完成

水あび小屋の室内に小物が加わり、にぎやかになりました。次号で屋根や岩を組み立て、水あび小屋を完成させます。

保管のポイント

組み立て前や組み立て途中の水あび小屋・家具パーツは、エアキャップなどにくるんで、個別に箱に入れるなどして保管するとよいでしょう。



組み立てのコツが満載!

組立サポート  
動画を  
チェック!



<https://deagostini.jp/app/moo/>

水あび小屋 屋根瓦 小物 ボート、岩を組み立てる

今号のパーツ

水あび小屋

①瓦シート (A)

②瓦シート (B)

③岩

④海草  
シート (A)

⑤海草  
シート (B)

⑥板



⑦フレーム (B)

⑧フレーム (C)

⑨フレーム (D)

小物

※①瓦シート (A) には、「4」、「5」、「7」、「8」、「11」、「12」、「14」、「15」の番号が記されているシートと、番号が記されていないシートがあります。

※②瓦シート (B) には、「2」、「3」、「6」、「9」、「10」、「13」の番号が記されているシートと、番号が記されていないシートがあります。

使う道具

- ☐ 木工用ボンド
- ☐ 瞬間接着剤
- ☐ 紙ヤスリ (240番)
- ☐ カッターナイフ
- ☐ カッティングマット
- ☐ ハサミ
- ☐ 三角定規

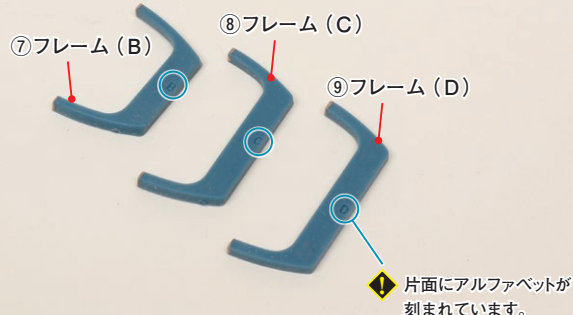
- ☐ マスキングテープ
- ☐ キッチンペーパーなど
- ☐ 絵皿 (紙皿でも可)
- ☐ 筆
- ☐ アクリル絵の具  
・ホワイト (白)

あると便利な道具

- ☐ ピンセット
- ☐ 洗濯バサミ

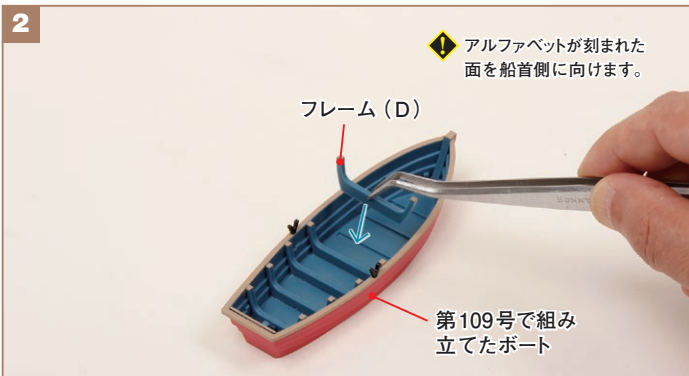
小物 ボートの組み立て

1



⑦～⑨フレーム (B、C、D) の片面には、アルファベットが刻まれています。

2



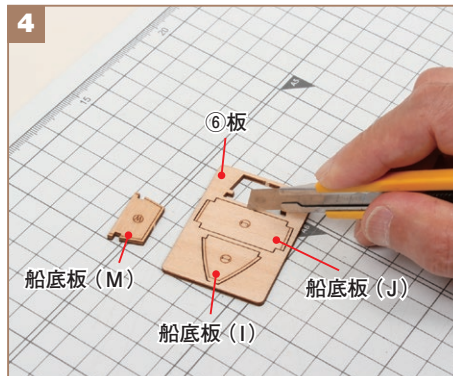
第109号で組み立てたボートの船底の切り込みにフレーム (D) をはめ込み、瞬間接着剤で接着します。

3



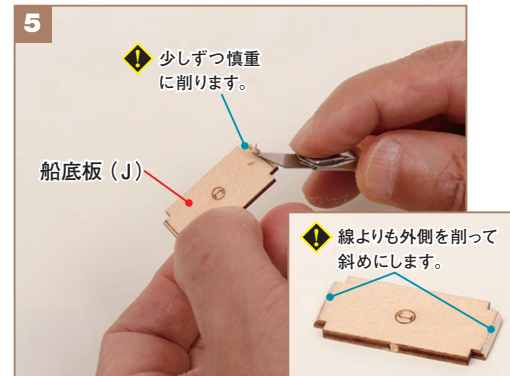
2と同様に、船底の切り込みにフレーム (B) とフレーム (C) をはめ込み、瞬間接着剤で接着します。

4



⑥板の継ぎ目をカッターナイフで切り、船底板 (I、J、M) を外します。切り口は紙ヤスリをかけて平らにしましょう。

5

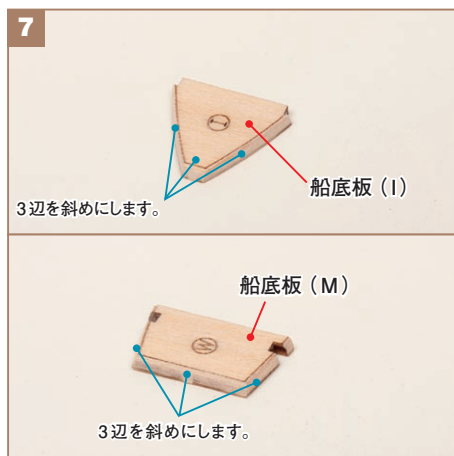


船底板 (J) に刻まれた線よりも外側を削り、端を斜めにします。まず、カッターナイフで少しずつ慎重に削ります。





おおよそ削れたら、紙ヤスリで削って仕上げます。紙ヤスリを三角定規に当てて削るとよいでしょう。



5～6と同様に、船底板 (I) と船底板 (M) に刻まれた線よりも外側を削り、端を斜めにします。



ボートの船首側に、船底板 (I) を瞬間接着剤で接着します。

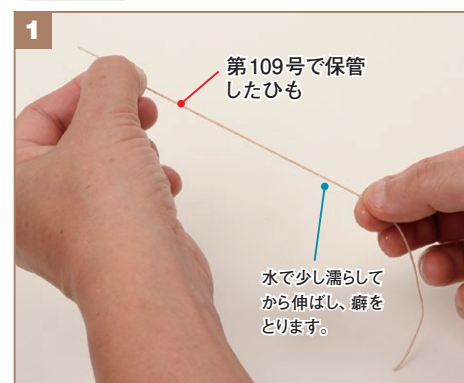


8と同様に、ボートの中ほどに船底板 (J) を瞬間接着剤で接着します。



さらに、船尾側に船底板 (M) を瞬間接着剤で接着します。次は、ボートのロープを組み立てます。

## 小物 ロープの組み立て



第109号で保管したひもを水で少し濡らしてから伸ばし、癖をとります。



ひもが乾いたら、直径約20mmの輪になるように巻きます。



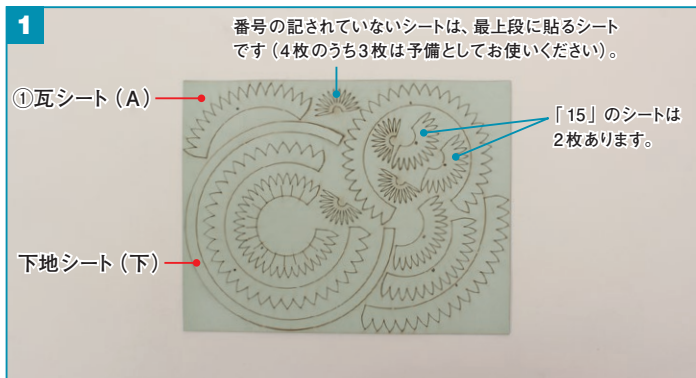
ひもの端を結び、結び目にボンドをつけて固めます。



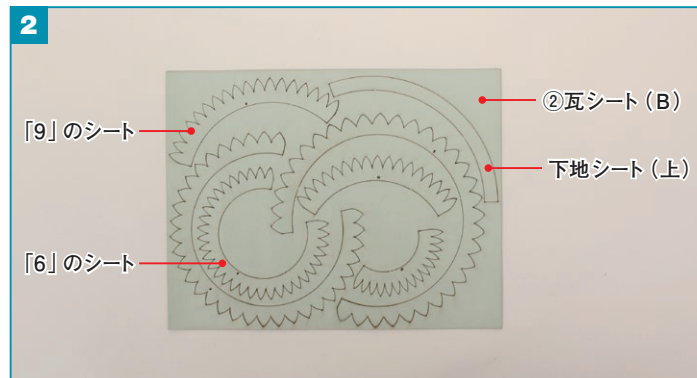
船首側の船底板にひもを乗せ、船内にオールを置いてボートの完成です。オールやひもは瞬間接着剤やボンドで接着してもよいでしょう。



## 水あび小屋 屋根瓦（下側）の組み立て



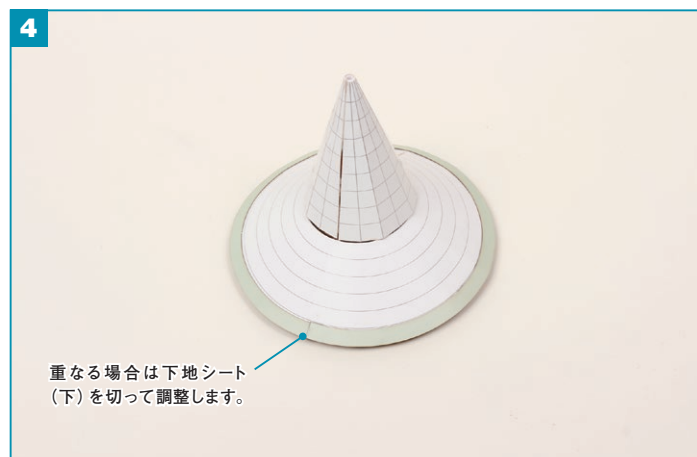
①瓦シート（A）の継ぎ目をカッターナイフで切り、各シートを外します。



同様に、②瓦シート（B）の各シートも外します。「6」と「9」のシートを間違えないように注意してください。



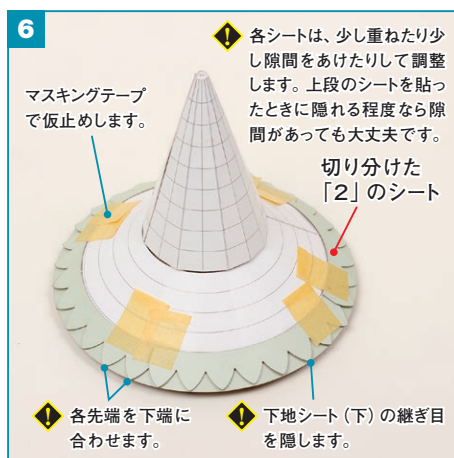
第109号で組み立てた屋根の下地の一番下側に、**1**で外した下地シート（下）をボンドで貼ります。片端から貼りはじめ、下地の下端に合わせて貼っていきます。



下地の下端に合わせながら1周貼ります。端が重なる場合は、下地シート（下）を切って調整します。



「2」のシートをおおよそ4等分に切ります。

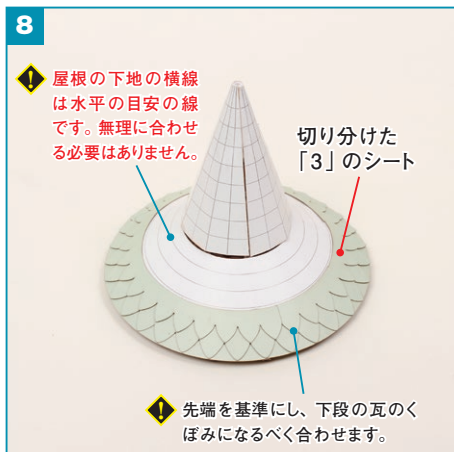


「2」のシートを仮止めし、貼る位置を確認します。切り分けた「2」のシートをマスキングテープで仮止めし、1周覆います。

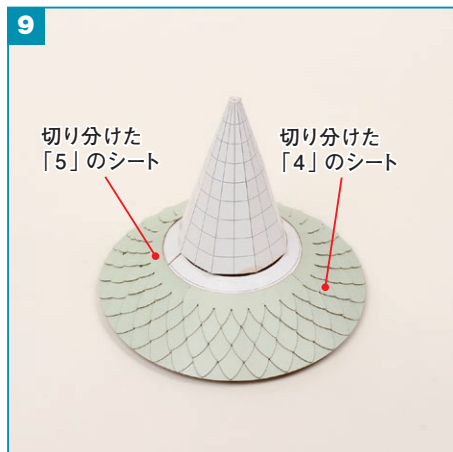


各シートの位置が決まったら、1枚ずつボンドで貼っていきます。

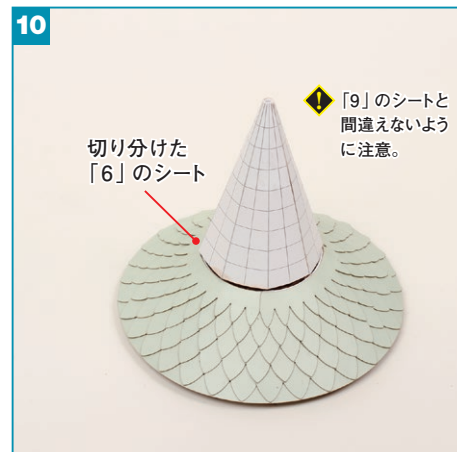




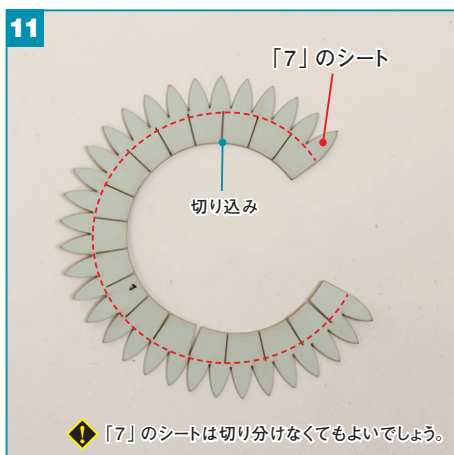
5～7と同じ要領で、「3」のシートを貼ります。おおよそ4等分に切り分け、マスキングテープで仮止めて位置を決めてから貼りましょう。



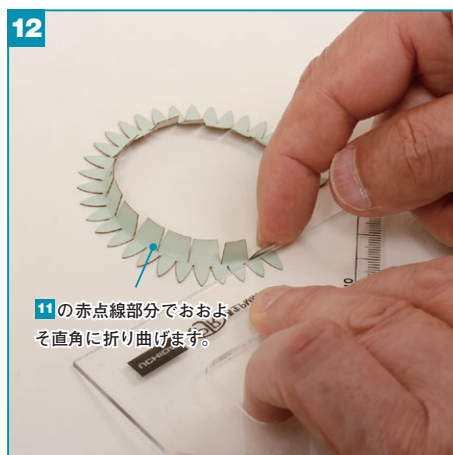
同様に、「4」のシート、「5」のシートを下から順に貼ります。



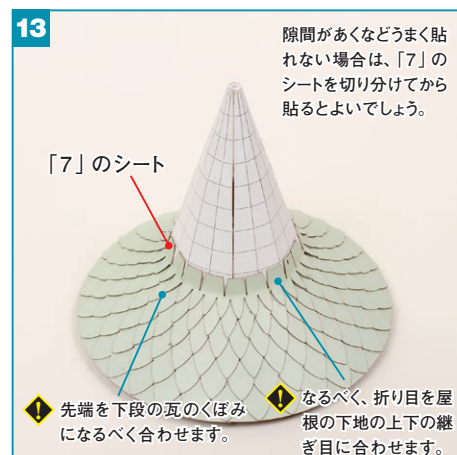
さらに、「6」のシートを貼ります。



「7」のシートには、切り込みが入っています。赤点線部分で折ってから貼ります。

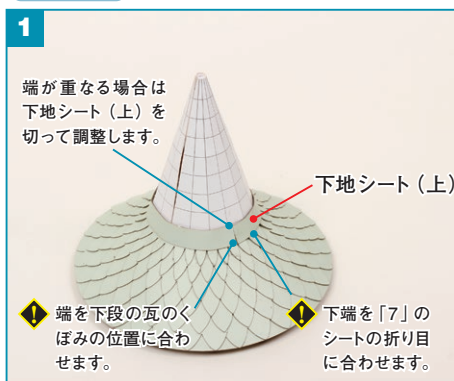


11の赤点線部分でおおよそ直角に折り曲げます。三角定規を当てて折るとよいでしょう。

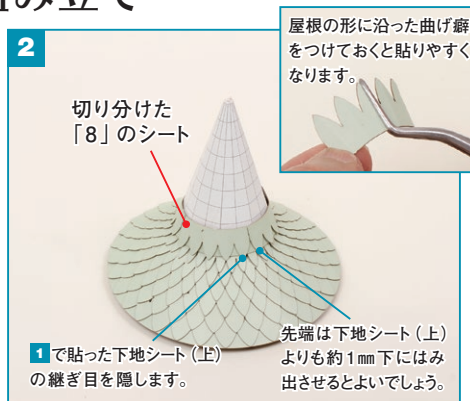


折り曲げた「7」のシートをボンドで貼ります。

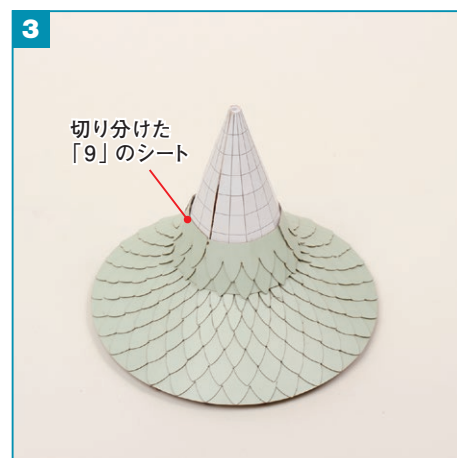
## 水あび小屋 屋根瓦（上側）の組み立て



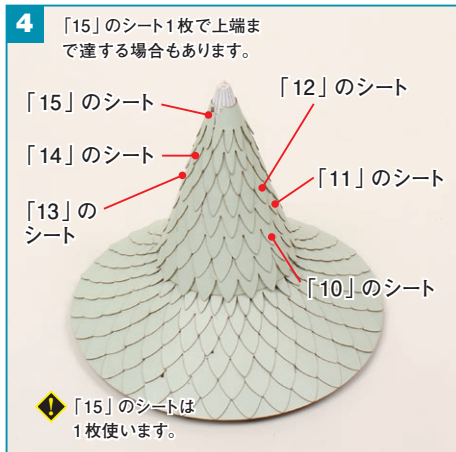
前ページの3～4と同じ要領で、下地シート（上）を1周貼ります。貼りはじめの位置に注意してください。



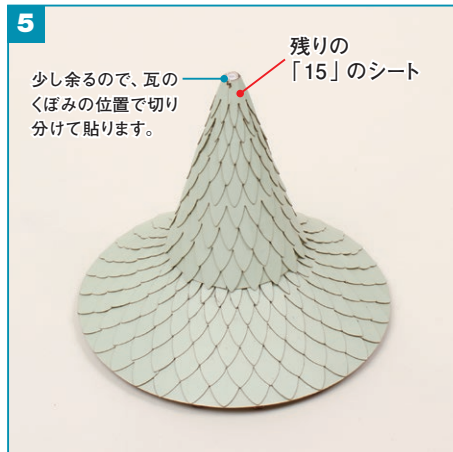
前ページの5～7と同じ要領で、「8」のシートを貼ります。おおよそ4等分に切り分け、マスキングテープで仮止めて位置を決めてから貼りましょう。



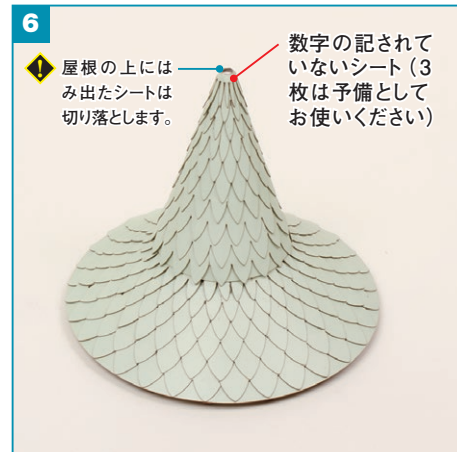
同様に、「9」のシートを貼ります。



同じ要領で、「10」～「15」のシートまで、下から順に貼っていきます。



「15」のシート1枚で上端まで届かない場合は、もう一段上に、残りの「15」のシートを貼ります。

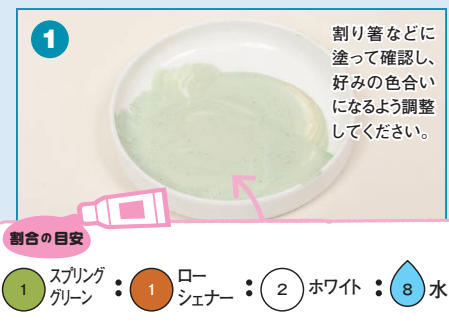


さらに、もう一段、数字の記されていないシートを貼ります。屋根の上にはみ出たシートは切り落とします。

## STEP UP!

### 屋根瓦に濃淡をつけてよりリアルに

ムーミンハウスと同様、屋根瓦はところどころ着色して濃淡をつけるとよりリアルになります。同時に、シートの数字や屋根の下地が出ている部分も着色しましょう。



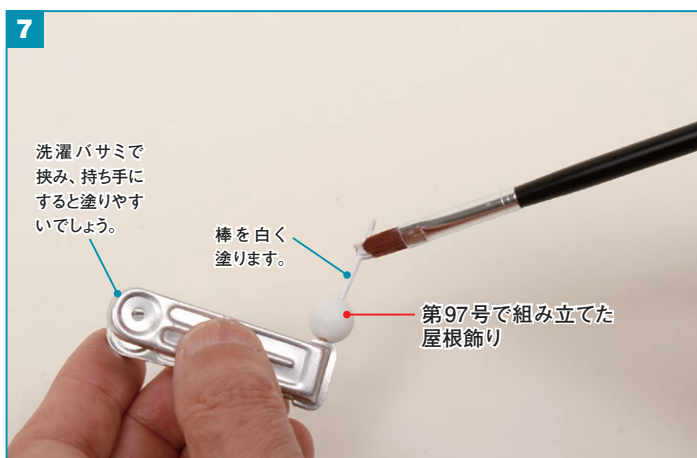
「割合の目安」を参考に絵の具を出し、よく混ぜ合わせます。



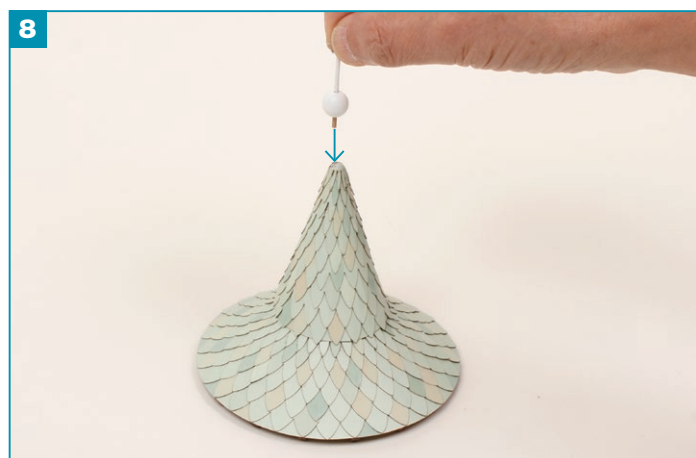
絵の具を筆に取り、屋根のところどころの瓦に塗ります。



ローシェナーやランプブラックなどを少量加えて少し色を変え、バランスよくところどころの瓦に塗ります。



屋根を仕上げます。まず、ホワイトの絵の具を水と1:1を目安に溶き、第97号で組み立てた屋根飾りの棒に塗ります。



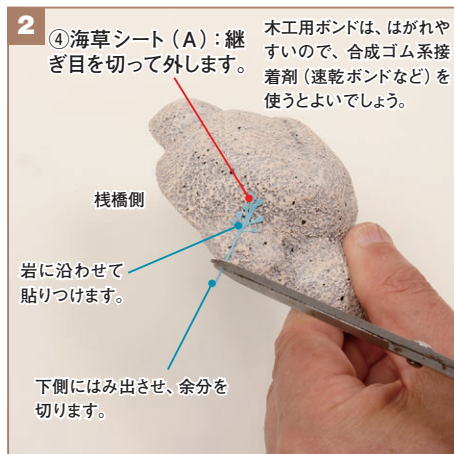
屋根飾りの棒を屋根の頂部の穴に差し込み、瞬間接着剤で接着します。屋根の完成です。次は岩をつくります。



## 小物 岩の組み立て



③岩の向きを確認します。段差があり、へこんだほうが栈橋側になります。



④海草シート(A)の継ぎ目をカッターナイフで切って外し、岩の栈橋側に貼ります。下側にはみ出させ、余分は切りましょう。



②と同じ要領で、岩の栈橋側にバランスよく海草シート(A)の残りと⑤海草シート(B)を貼ります。



水あび小屋の上に屋根を乗せ、栈橋の端を岩の上に乗せて完成です。第97で組み立てたベンチを室内に飾り、ボートやフィギュアを置くなど自由にアレンジして楽しみください。

⚠️ 栈橋の端を岩の段差に合わせます。栈橋が浮く場合は、段差よりも上側に乗せましょう。

※岩は栈橋に接着しません。

